

(無料) NITE 講座開催のお知らせ

産学官で拓くバイオものづくりの未来 ～ドライとウェットの融合で加速
する社会実装～



独立行政法人製品評価技術基盤機構 [NITE (ナイト)、理事長：長谷川 史彦、本所：東京都渋谷区西原] は、2026 年 11 月 6 日 (金) に、無料セミナー「産学官で拓くバイオものづくりの未来 ～ドライとウェットの融合で加速する社会実装～」を開催します。

本講座では、我が国のバイオものづくり政策、NBRC で提供している支援サービスの解説に加え、産学官の連携による「バイオものづくり」に関する取組事例を産学官それぞれの立場からご紹介します。

会場参加およびオンライン参加のいずれも可能なハイブリッド開催で、参加費は無料です。

微生物の産業利用、社会実装に向けた研究開発、産学官で連携した「バイオものづくり」に関心のある皆様のご参加をお待ちしております。当日の会場では名刺交換会も予定しています。是非ご来場ください。

◆このような方におすすめです。

- ・ バイオテクノロジー分野に取り組む企業・研究者・技術者

- ・ 微生物によるバイオものづくりに関心のある方
- ・ バイオ産業の政策・産学官連携に関心のある方
- ・ バイオ分野を志す学生や教育関係者

◆開催情報

タイトル：「産学官で拓くバイオものづくりの未来 ～ドライとウェットの融合で加速する社会実装～」

開催日時：2026 年 11 月 6 日（金曜日）13：30～17：00

開催形式：ハイブリッド（会場＋オンライン・Teams ウェビナー）

会場：NITE 本所（NITE スクエア）（東京都渋谷区西原 2-49-10）

参加費：無料

定員（先着順）：会場参加：60 名、オンライン参加：1,000 名

※先着順で受付、定員になり次第受付を終了します。

申込方法：NITE ウェブサイトにて受付中

https://www.nite.go.jp/nbrc/kouhou/nite_lectureship2026.html

◆プログラム

13:00 受付開始・開場

時間	タイトル	講演者	概要
13:30 ～13:35 (5 分)		NITE バイオテクノロジーセンター（NBRC）事務局	事務局よりご連絡
13:35 ～ 13:50 (15 分)	オープニング	NITE 理事 梅原 徹也	ご挨拶・NITE 概要紹介
13:50 ～ 14:10 (20 分)	バイオものづくり政策の転換点～需要創出から逆算し、量産・商用化へ～	経済産業省 商務・サービスグループ 生物化学産業課 課長 山室 芳剛	合成生物学・バイオ分野は、健康、経済安全保障、GX と経済成長を同時に実現する分野として、日本成長戦略の重点 17 分野に位置づけられています。中でもバイオものづくりは、技術実証の成果を本格的な産業化につなげる段階にあります。 本講演では、商用生産から逆算し、需要創出、量産投資、国内商用生産へつなげる政策の考え方を軸

			に、これまでの取組と今後の重点を紹介します。
14:10 ～ 14:30 (20分)	NITE が行うドライとウェット両面からのバイオものづくり支援	NITE バイオテクノロジーセンター (NBRC) 所長 荒田 芙美子	NITE では、ドライ面の支援として、各種法令、論文、データベース等からの公知データに加え、NITE で独自に取得したバイオものづくりに関するデータを収集・提供しています。また、ウェット面の支援として、微生物を約 9 万 8 千株保有し提供しているほか、技術面の支援等も実施しています。 本講演では、これらの支援のラインナップと、実際に企業様の研究開発促進や社会実装に役立った事例を紹介します。
14:30 ～ 15:00 (30分)	デジタル×バイオで加速するバックスの目指すスマートセル開発	株式会社バックス・バイオイノベーション 研究開発部 GI 事業グループ 統括マネジャー 番場 崇弘	「バイオものづくり」の鍵を握るのが、目的物質を生産する微生物です。しかしながら、有望な生産菌（スマートセル）の開発には膨大な時間とコストがかかる点が課題となっています。株式会社バックス・バイオイノベーションは、情報科学と生物工学を融合し、スマートセルを高速・高効率に開発する技術に取り組んでいます。 本講演では、当社の独自技術と最新プロジェクトの事例を紹介します。

休憩時間 (20 分) 15:00～15:20

15:20 ～ 15:50 (30分)	バイオ生成 AI が切り拓く次世代生命科学研究基盤	国立遺伝学研究所 教授/副所長 黒川 顕	生成 AI 技術の急速な進展により、生命科学研究は大きな変革期を迎えています。ゲノム言語モデル (gLM) は、膨大なゲノム配列からその特徴や規則性を学習する AI です。我々は、より高次元の情報を統合した gLMを開発し、予測・実験検証・再学習を循環させる研究基盤の構築を進めています。
------------------------------	---------------------------	-------------------------	---

			本講演では、gLM を中核として生命科学を「観測」から「制御」へと発展させる次世代研究基盤の構想を紹介します。
15:50 ～ 16:20 (30 分)	CO ₂ からのバイオものづくりを加速する「POMIC」と「GI フォーラム」	NITE バイオテクノロジーセンター（NBRC） バイオものづくり基盤支援課 課長 森 浩二	NITE は、NEDO グリーンイノベーション（GI）基金事業の一環として NITE コンソーシアムを形成して、バイオものづくり産業の発展に資するプラットフォーム「POMIC：CO₂ 固定微生物利活用プラットフォーム」の構築を進めています。本プラットフォームから菌株・データ・ツールを、我が国の CO₂ からのバイオものづくりを志す企業等が参画できる「GI フォーラム」に限定先行公開し、技術の社会実装と産業発展の加速に貢献しています。 本講演では、「POMIC」の概要や「GI フォーラム」を通じたバイオものづくり支援の取組みを紹介します。
16:20 ～ 16:25 (5 分)	クロージング	NITE バイオテクノロジーセンター（NBRC） 次長 照井 保幸	ご挨拶
16:25 ～ 16:30 (5 分)		NITE バイオテクノロジーセンター（NBRC） 事務局	事務局よりご連絡
16:30 ～ 17:00 (30 分)	名刺・情報交換会 ※現地参加のみ		

NITE バイオテクノロジーセンターについて

NITE は経済産業省所管の行政執行法人として、工業製品の安全や品質に関わる経済産業省の業務を技術面からサポートすることで、様々な産業を支えています。

NITE バイオテクノロジーセンター（NBRC; Biological Resource Center, NITE）は、約 9.8 万株の微生物を保存する世界最大級の微生物保存機関で、微生物やデータの提供、技術支援、法施行支援を行っています。

微生物によるバイオものづくりの支援を通じて、社会問題の解決や持続的な経済成長の実現に取り組んでいます。



↑ YouTube 動画へのリンクを入れる

<https://www.youtube.com/watch?v=ByOcaUqbHz4>

お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）

計画課 バイオ戦略・広報室

担当：神野、宮下

Email : bio-inquiry@nite.go.jp

関連リンク

NITE 公式サイト : <https://www.nite.go.jp>

NBRC（NITE バイオテクノロジーセンター） : <https://www.nite.go.jp/nbrc>